

ご使用方法 No.1

金属接着剤 GM-5520のご使用にあたっては
性能を引き出すため、計量・混合は
電子天秤等を使い、正確に行ってください。
混合後は急速に反応・固化します。10分以内に
作業を完了できる段取りをしてからご使用下さい。
60℃-1時間以上の加熱硬化が理想的です。

開発製造 有限会社 ブレニー技研
群馬県 伊勢崎市 三光町 22-13
TEL 0270-20-7056
FAX 0270-20-7057

ホームページ <http://www.sannet.ne.jp/blenny/>
新規ドメイン えぼきし.com EPOXY-PRO.com

使用方法

段取りOK
ですか?
作業時間は
10分です。



紙コップの底に天秤を
使って主剤を計量します。

硬化剤を計量しながら
入れます。

作業手順	作業方法・注意事項
<p>反応硬化の 進行状態</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 紙コップのにて50g混合しそ のまま放置した状態での反応 発熱と硬化進行の状況。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 混合量 主剤+硬化剤 GM-5520 : 50g=33.3g+16.7g </div>
<p>段取・準備</p> <p>下地処理 ヤスリ掛け</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 混合後は10分以内で作業を完了する用意をして下さい。・・・10分後から急速に固まり始めます。 ・ 電子天秤、ウエス、ティッシュペーパー、混合用ヘラ、赤外線ライト用意するものすべて揃っていますか？ ・ 接着してはダメな所にNo.10 (リケイ剤)は塗布してありますか？ 孔、キャップボルトなどにも塗布OK? ・ 混合まえに、組立確認をして下さい。 ・ 赤外線ライト、加熱装置にて約50~60℃に鋼材などの母材表面を暖める。 ・ 油、水、切削オイル等はアセトン、ウエスなどでよく拭き取っておいて下さい。 ・ 接着してはダメな所にNo.10 (リケイ剤)は塗布して下さい。キャップボルトなどにも塗布忘れず! ・ 離型剤No.10 の塗布は筆、刷毛、またはウエスなどで2回塗りして下さい。 ・ 離型剤No.10 の塗布後は、ウエスなどでかるく乾拭きをして下さい。

ご使用方法 No.2

作業手順	作業方法・注意事項		
<p>使用量の決定</p>	<p>1 体積の積算をしてから・・・体積 (aa.a)cc × 比重 [GM-5520=1.2]=(AA.A)g 2 使用する重さ(g)を決めた場合・・・</p> <p>例) 正確に使用量の算出したい場合・GM-5520</p> <p>GM-5520を総混合量=(AA.A)gとしたい場合は、 主剤の使用量(R)g =(AA.A)g ÷ (R+H) × R 硬化剤の使用量(H)g=(AA.A)g ÷ (R+H) × H</p> <p>混合量=10.0gでは 混合量=50.0gでは 主剤=(10.0)g ÷ (150) × 100=6.7g 主剤=(50.0)g ÷ (150) × 100=33.3g 硬化剤=(10.0)g ÷ (150) × 50 =3.3g 硬化剤=(50.0)g ÷ (150) × 50 =16.7g</p>		
<p>配合比 主剤：100 硬化剤：50</p> <p>計量 主剤=1.0g以上 硬化剤=0.5g以上 上で計量して お使い下さい。</p> <p>計量スプーン 主剤 × 2杯 硬化剤 × 1杯</p>	<ul style="list-style-type: none"> 電子天秤(0.1g計量可能なもの)にて、主剤、硬化剤を正確に取り出します。 最初に主剤を計量し、次に硬化剤を計量します。 硬化剤は多めにしないこと！ 硬くなりません。性能も低下します。 <p style="text-align: center;">GM-5520の場合(主剤/硬化剤=100/50)</p> <p>例1) 紙コップを天秤に乗せ、風袋0合わせ 主剤を10.2g計量し、風袋0合わせ 硬化剤は10.2 ÷ 2 =5.1g計量。</p> <p>例2) 紙コップを天秤に乗せ、風袋0合わせ 主剤を10.2g計量し、そのまま 硬化剤は10.2 × 1.5=15.3gとなる まで、追加計量する。</p> <p>或いは 10.2 × 0.5=5.1g計量。</p> <ul style="list-style-type: none"> 付属の計量スプーンでは、主剤×2杯 硬化剤×1杯の割合で計量して下さい。(約15gとなります) 計量作業では、主剤と硬化剤はなるべく触れ合わないようして下さい。混ぜると反応が始まります。 		
<p>混合</p> <p>塗布</p>	<ul style="list-style-type: none"> すばやく1~2分で混ぜます。紙コップや混合容器のすみに、混ぜ残しのないよう注意して下さい。 ヘラ、竹へら、パテヘラ、洋食用ナイフなどで肉盛り、塗布して下さい。 		
<p>硬化 60℃-1時間が 硬化の条件</p>	<ul style="list-style-type: none"> 常温(23℃)では、混合後、10分程度の間は流動性があり、塗布・肉盛りが出来ます。この間を過ぎると急激に固化が始まります。硬化は、60℃では約20~30分です。更に、60℃にて加熱硬化させます。硬化条件は・・・60℃-1時間以上で、2~3時間程度で更に性能UPします。 <p>硬化の速さは、</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> <p>硬化が速い条件</p> <ul style="list-style-type: none"> 混合量が多い 温度が高い(80℃以上はNG) 厚みが厚い 熱が伝わりにくいものへの塗布 </td> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> <p>硬化が遅い条件</p> <ul style="list-style-type: none"> 混合量が少ない 温度が低い(10℃以下はNG) 厚みが薄い 熱が伝わりやすいものへの塗布 </td> </tr> </table>	<p>硬化が速い条件</p> <ul style="list-style-type: none"> 混合量が多い 温度が高い(80℃以上はNG) 厚みが厚い 熱が伝わりにくいものへの塗布 	<p>硬化が遅い条件</p> <ul style="list-style-type: none"> 混合量が少ない 温度が低い(10℃以下はNG) 厚みが薄い 熱が伝わりやすいものへの塗布
<p>硬化が速い条件</p> <ul style="list-style-type: none"> 混合量が多い 温度が高い(80℃以上はNG) 厚みが厚い 熱が伝わりにくいものへの塗布 	<p>硬化が遅い条件</p> <ul style="list-style-type: none"> 混合量が少ない 温度が低い(10℃以下はNG) 厚みが薄い 熱が伝わりやすいものへの塗布 		
<p>加工</p>	<ul style="list-style-type: none"> 機械加工(ヤスリがけ、フライス、研磨、旋盤等)はできますが、放電加工・ワイヤカットは出来ません。 		

ご注意	先進エポキシ樹脂 / Genusジーナス / 構造用次世代金属接着剤~緊急修理剤
<ul style="list-style-type: none"> 製品の注意を良く読んでご使用下さい。 ご使用後は、冷暗所にて保管して下さい。 皮膚や手などについた場合は、石鹸で十分に水洗いを行って下さい。 製品の目的用途以外には使用しないで下さい。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 金属補修剤シリーズ・・・GM-8300、GM-8100、GM-8500etc ● 金属&構造用接着剤シリーズ・・・GM-5500、GM-5520 ● 透明エポキシ樹脂シリーズ・・・GM-9002、9003etc、専用着色剤 ● 高性能FRP用エポキシ樹脂シリーズ・・・GM-6600、GM-6800、精密グルコートetc ● 緊急・速硬化エポキシ樹脂シリーズ・・・GM-1225、GM-1228etc ● 離型剤・アクセサリ製品、各種接着剤・補修剤 ● カラーエポ倶楽部
<p>最新情報はホームページでご案内しています。</p> <p>http://www.sannet.ne.jp/blenny/ http://www.blenny.co.jp/ http://www.epoxy-pro.com/ http://えぼきし.com/ http://カラーエポ倶楽部.com/</p>	